



東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No. 98

2017年10月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

シュウメイギク

安倍政治を終らせよう！

戦争NO 原発NO
格差NO 反安倍 YES

憲法破壊解散弾劾

安倍首相は、臨時国会冒頭解散を強行しました。憲法に基づく臨時国会開催要求権を踏みにじる憲法破壊解散です。

同時に、新事実が出てきた「森友」「加計」疑惑の追及逃亡解散でもあります。「こんな人にこの国を任せられるか。」「こんな人に負けられるか。」

小池も危険な政治家

北朝鮮情勢を悪用した安倍劇場選挙は、突如の「小池劇場」で状況は大きく変化しました。

小池都知事は、国民の期待に応えられるでしょうか。大臣就任中の靖国参拝、関東大震災時の朝鮮人等虐殺の事実を否定、都政の独裁的運営な

ど、国家主義的思想をもつ極めて危険な政治家です。

リベラル共闘断固支持

退職者会は、市民を仲立ちにした野党4党共闘の発展に期待してきました。総選挙では、この考え方を継承する『立憲民主党』を中心とするリベラル共闘を支持します。

反安倍・反自民で

リベラル共闘の候補者不在の選挙区では、次善の策として、各候補者の政策・公約をみた上で、「反安倍」の視点で判断することをお勧めします。

安倍自らがくれた安倍・自民党を打倒する折角のチャンスを活かししましょう。安倍政治を終らせ、リベラル政権を！



学習交流会



**辺野古新基地は許せない
対米従属が諸悪の根源
ヤマトとオキナワ連帯を**

9月22日、「日本の中の沖縄、沖縄から見た日本」をテーマに、学習交流会を開きました。講師は琉球新報東京支社報道部長の新垣毅さん。北朝鮮危機の対応、沖縄と安保、沖縄自己決定権運動など、熱を込めて語っていただきました。参加者は26名。学習会後の懇親会も盛会、有意義な学習会でした。



新垣講師
軍というナイフが刺さっている。辺野古を止めることは、保守も革新もないオール沖縄だ。

日米地位協定は治外法権

「沖縄でエンジョイ」が募集のキャッチフレーズ。地位協定の不平等さが犯罪の温床。

沖縄基地の4分の3が海兵隊。最初に敵地へ乗り込む部隊だが、空爆の時代になり「時代遅れ」に。現在の役割は、災害支援、在外米国人救助、物資補給等の後方支援。「日本を守る」は幻想に過ぎない。

アメリカのグアム等への分散移転構想を日本政府が止めている。米兵の血が流れるとアメリカは本気になるので、人質にすることと、自衛隊の家庭教師機能。アメリカにとつては、環境基準が厳しいアメリカでできない訓練をできることがメリット。

沖縄自己決定権とは

本土復帰後の自治権運動の挫折を経て、自然摂理の「自己決定権」の論に至った。

北朝鮮危機と安保体制

北朝鮮危機に対し、アメリカ従属の日本は国際社会から無視、危機解決役になれない。アメリカが攻撃すれば、北朝鮮はほぼ壊滅するが、反撃できる。まず韓国、続いて米軍基地所在地が攻撃される。

沖縄は再び捨て石に

2〜3年前からのヘイトスピーチとともに、沖縄差別を感じて。「日本を守る米軍基地に反対する沖縄は国賊だ」論。政府は、中国有事を限定戦争と想定。「離島奪還作戦」は

辺野古反対はオール沖縄

占拠されることが前提。住民は脱出できず、捨て石になる。

辺野古には軍港等がつくれ、機能が強化される。普天間の「移設」ではなく、負担軽減のためでもない。高江ヘリパッドと辺野古を一体化させたオスプレイの大基地構想。最新鋭の新基地そのものだ。

沖縄の歴史的負担は、島民の4人に1人が死んだ沖縄戦が教訓。「軍隊は住民を守らない」「住民虐殺もあった」。軍隊があると標的になる。沖縄戦のつらい思いに、米

国連人権規約の「自己決定権」は、「人民」の権利。

琉球王国はかつて主権国家。国連は、沖縄を「先住民」と認定。先住民の権利宣言で、先住民の土地を軍事利用できない。銃剣とブルで土地を取り上げて建設された米軍基地は違反している。ここが自己決定権行使のポイントの一つ。

ヤマトの闘いへの提言

アメリカ従属で受けるリスクを日本の国民は理解しているのか。有事やテロの標的になる。沖縄から見ると、日本丸の船底は穴が開いている。

アメリカ従属から脱却し、ビジョンをもつ必要がある。「東アジア共同体構想」もその一つ。内向き志向から脱却を。



学習会後の懇親会でも熱心に議論

第2回会 幹事会

①新春の集い開催場所の変更と日程、
②横浜フィール
ドワーク、
③演芸鑑賞会日
程、
④旅行会の見直し検討

9月22日、第2回幹事会と専門部会を開き、主に次のことを検討し、確認しました。

「新春の集い」は場所を変更、1月20日予定

来年の「新春の集い」は、例年行っていた小石川後楽園涵徳亭ではなく、清掃会館近くの店の個室を借りて実施することになりました。

小石川後楽園涵徳亭は、最近人気が高く、予約が難しくなっていることと、参加者の評判がイマイチだったことを踏まえた判断です。開催日は1月20日を予定しています。

「演芸を楽しむ会」
3月6日を予定

今年度は、前回と同じく国立演芸場3月上旬とし、3月6日を予定しています。

実施方法はこれから検討しますが、昨年同様、昼食各自負担の参加費500円（65歳未満は千円）でと考えています。

満は千円）でと考えています。

「お花見ウオーク」
千葉で花見を予定

お花見ウオーキングは、開催場所を「東京↓埼玉↓千葉」の輪番制で行っています。次は千葉の番です。

どこかいいところはないか、知恵を拝借したいと思います。

「親睦旅行」中止
新企画案検討開始

残念ですが、11月の親睦旅行は、参加者が成立要件に達しないため、中止にせざるを得ません。期待に応えられず、申し訳ありませんでした。

この事態が想定された幹事会で、今回も断念なら、従来の旅行は無理なので、シンプルで、シンブルな一泊旅行の企画を視野に入れて検討することになりました。



「歩こう会」鎌倉ウォーク

「鎌倉観光の王道」散策



「歩こう会」9月のウォーキングは、鎌倉観光の王道「鎌倉大仏と長谷観音、極楽寺坂」。

9月13日、「鎌倉」駅西口に集合、参加者は8名。

江ノ電で「極楽寺」駅、忍性所縁の「極楽寺」、アジサイが有名で由比ガ浜の眺望が美しい「成就院」、江ノ電撮影スポット「御霊神社」をまわり、

長谷寺へ。木像では日本最大級の長谷観音は大迫力。午後、花の寺「光則寺」、そして、鎌倉大仏。修理で美しくなった大仏に「小学校の修学旅行以来」と感激する参加者も。その後、お洒落な由比ガ浜通り散策の予定でしたが、好天に恵まれすぎて暑さにへばり、

次回は、11月下旬
歌川広重「名所江戸百景」めぐりを計画しています。



高齢者集会

社会保障改悪反対 戦争・原発・格差反対 闘う姿勢を表明

までデモ行進しました。

■地公労高齢者集会

これまで同様に闘う姿勢を表明した後、東京新聞論説兼編集委員半田滋氏の『安全保障関連法で軍隊化する自衛隊』の講演を受けました。

北朝鮮問題にふれた「日本の防衛システムはザル、PAC3は半径40Kmしか対応せず、当たるかどうかもわからない。原発の近くには全くない。日本政府は、本当は北朝鮮のミサイルをたかをくくっている。戦争が起るとすれば、アメリカの戦争に巻き込まれる場合のみで、米軍基地と安保法制がなければ、戦争の恐怖におびえる必要はない。」というお話しは納得できました。

9月14日、文京シビックホールで全国高齢者集会が、翌15日、日本教育会館ホールで地公三単産・地公労高齢者集会が開催されました。

■全国高齢者集会

連合神津会長

が、安倍政権と長時間労働は認で取引したことを繰返し弁明したことが印象的でした。

これに対し退職者連合は、「安倍政権打倒」の姿勢を明確にし、集会後「西神田公園」



「放射能ごみ焼却を考えるふくしま連絡会」の取材に同行して

『労働情報』より、福島県廃棄物焼却反対で活動している「放射能ごみ焼却を考えるふくしま連絡会」取材のため、焼却のわかる人の同行を求められ、岩田、箱田が参加しました。

放射能濃度が8千Bq/kg以下のごみは仮設焼却炉で焼却、10万Bq/kg以下は溶融処理。8千Bq/kg以下の焼却残渣は骨材等で再利用。10万Bq/kg超えの廃棄物は溶融処理後、濃縮しガラス容器封印、残渣も再利用の計画と聞きました。23区の清掃工場では到底考えられません。一体どうなっているのか、興味をいだきました。

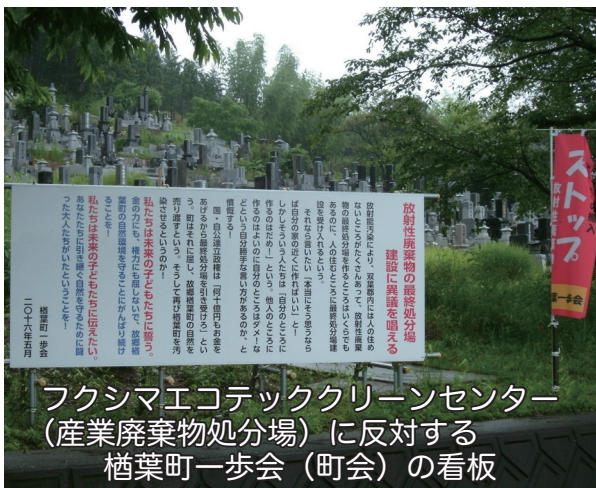
取材は、7月17、18日に行いました。さすがに10万Bq/kg超えの廃棄物処理計画はなく、なつたようですが、現地で見聞したのは、国の復興名目の莫大な予算投入とそれを食い物にする大手ゼネコンと廃棄物等の処理会社の姿でした。

廃棄物処理以外では原発事故で失われた浜通り等の産業

基盤再構築を名目に、政・産・学共同の廃炉やロボット技術研究、次世代エネルギー開発や、LNG基地建設等様々な国家プロジェクトが急ピッチで進められていました。

一方、被災地では住民の姿はほとんどなく、広大な土地に施設等の建築物が並び、重機が動き、各メーカーのヘルメット姿の作業員のみが働いているという光景でした。

※次回は放射能廃棄物処理の実態等を報告します。(岩田)



東京清掃第87回定期大会

若い代議員が活発に意見



9月24日、東京清掃第87回定期大会が連合会館で開催されました。

● 桐田委員長

大会開催にあたり、「①現業賃金は不当に低く抑えられている。現業差別だ。今次確定闘争を闘い抜く。②全国の清掃事業直営率は20%。非正規が増加し、社保非適用、労基法違反等劣悪な状況

にある。下請・非正規の労働条件改善は東京清掃の使命だ。③安倍は、アメリカ力誂でをして北朝鮮を刺激、共謀罪の強行採決に続き、臨時国会冒頭解散の策動、安倍一強を許さず、衆院選に勝利しよう。」と、闘いの方向を示しました。

● 丹野退職者会副会長

来賓挨拶で「超国家主義の安倍政治をこのまま許しているわけにはいかない。衆院選で勝利しよう。現役世代が、厳しい状況の中で頑張っていることに敬意を表し、退職者会としても精一杯協力してい

きたい。」と激励しました。

● 大会の主な議論

若い代議員が活発に

経過報告と運動方針の主な議論は、①現業差別の任用制度改善、②若年層の賃金水準改善、③無年金期間の再任用賃金水準の抜本改善、④新規採用獲得の闘い、⑤いの中の危険がある夏季の高温下作業に対する高温手当新設、⑥下請・非正規労働者の劣悪な労働環境改善の闘い、⑦差別をなくす闘い、清掃人権交流会活動の強化、⑧青年部活動への協力要請などでした。

代議員の発言者は12名。特に若い代議員の活発な発言が目立ち、好印象をもちました。

● 定期大会は3月開催

なお、定期大会開催月を9月から3月に変更する規約改正が成立しました。賃金確定闘争期と重ならないようにすること、役員改選時期を自治労都本部とあわせること、専従役員の休職期間との関係が理由です。これにより、来年度の会計年度期間は臨時的に半年間になるため、退職者会への交付金も半分になります。

差別的現業賃金の改善が課題

現業賃金は、07年の9%切下げにより、行政職より著しく低い水準に抑えられており、統括技能長の賃金が行(二)系主任よりほんの少し高い程度にされています。

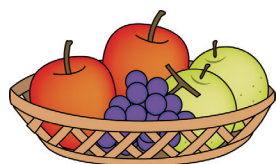
任用基準も、行政職より不利益で、しかも技能長・技能主任がポスト管理されているため、昇任機会を奪われる傾向が現れています。

これは現業差別です。

今春、行政系任用制度が見直され、係長級以上の賃金水準を厚く措置する方向が示されました。特別区人勧でも、係長級優遇、旧主任級の上位号給カットが想定されます。

明らかな現業差別の体系である現業賃金水準の大幅改善と、任用基準の抜本的是正が今年の賃金確定闘争の焦点になると思います。

ガンバレ！東京清掃。退職者会は応援します。





さようなら
原発

さようなら
戦争

台風一過で晴天の9月18日、代々木公園で「ともに生きる未来を！さようなら原発さようなら戦争全国集会」が開かれ、約1万人が集まりました。退職者会からの参加は12名。

福島原発刑事訴訟支援団は、「原発事故の責任を誰も取っていない。事故3年前に津波が予測され計画した防潮堤を東電幹部が潰した。その罪を問うため告訴団は闘う。」と決意を表明、自主避難者方は、「子

どもを連れて避難している。憲法で補償された平和に生きる権利を奪われた。子ども達の命を守ることが平和につながる。」と思いを述べました。

また、安倍首相による臨時国会冒頭解散が明らかになる中、呼びかけ人の鎌田慧さんは、「今日の集会を起点に、安倍政治に終わりを告げよう。」と呼びかけ、集会後「原発いらない」「安倍もいらない」とアピールしデモ行進しました。

11月3日

10万人で国会を包囲しよう！

安倍首相は、憲法9条の「軍隊と交戦権の否定」を死文化する「憲法に自衛隊を位置付ける」憲法改正案を発議しようとしています。

世界に誇る平和憲法を葬り去り、日本を、世界のどこでもアメリカとともに戦争をする国にするわけにはいきません。憲法公布日の11月3日、国会前に集まりましょう！



9月15日、日比谷野外音楽堂で「共謀罪は廃止できる！9・15大集会」を開催され、3千人が参加しました。

6月15日、国会で強行採決により成立した共謀罪法は、「言論が封じられ」「内心の自由を奪われ」「プライバシーが侵害され」「市民を萎縮させ」、戦前の治安維持法に変質する可能性があります。

今回の集会主催者「共謀罪廃止のための連絡会」は、共謀罪法の廃止に向け、あらゆる闘いを継続して行うとしています。退職者会も市民とともに闘います。

9月19日、「戦争法・共謀罪廃止・安倍政権退陣を求める国会前集会」が開かれました。戦争法の強行採決から2年経っても、闘う機運は衰えることなく、1万人を超える人が集まりました。

安倍政権による臨時国会冒頭解散の暴挙が明らかになったことから、各政党や市民団体の発言も熱を帯び、「森友・加計疑惑隠しの解散は許せない。」「北朝鮮危機の元凶は安倍だ。」「総選挙は戦争法廃止の絶好の機会だ。」「安倍内閣退陣の風を吹かせよう。」などが訴えられました。